

新潟市民芸術文化会館

(愛称：りゅーとぴあ)

新潟市音楽文化会館

(略称：音文)

指定管理者

平成31年度 業務計画書

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

目 次

| | | |
|----------------------|------------------|------|
| ◆理念、ミッション、アウトカム | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 1 |
| ◆施設の管理運営 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 2 |
| ◆自主文化事業 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 6 |
| ◆自己評価の仕組みとマネジメントへの反映 | ・・・・・・・・ | P 14 |
| ◆社会・地域貢献 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 15 |
| ◆委託契約計画（施設管理） | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 17 |
| ◆委託契約計画（舞台技術） | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P 18 |
| ◆自己評価表（新潟市民芸術文化会館） | ・・・・・・・・ | P 19 |
| ◆自己評価表（新潟市音楽文化会館） | ・・・・・・・・ | P 23 |

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館

(愛称：りゅーとぴあ)

(略称：音文)

理念

ミッション

アウトカム

理念

芸術・芸能文化の【継承】【発展】【創造】と【社会貢献】

ミッション (社会的役割)

1. 新潟から全国へ 世界へ発信

→ りゅーとぴあ発の先進的、実験的な舞踊・演劇作品を創造、国内外へ発信し、鑑賞機会を増やすとともに、新潟のひいては日本の存在感を高める 【創造】【発展】【社会貢献】

2. 芸術文化を通じて「生きる力」を育む

→ 市民の文化活動を支援し、文化を支える人材を育成するとともに文化を通じて地域のコミュニティを創造・再生し、「より良く生きる社会」を作る 【継承】【社会貢献】

3. 新潟の文化を次世代へ継承し、市民の誇りにつなげる

→ 「在来と外来」「伝統と革新」を融合させることができる新潟の「みなとまち気質」で、これまで育てた文化を次世代へ、そしてシビックプライドへ 【継承】【発展】【社会貢献】

アウトカム (ミッション説明の下線部分)

1. 新潟のひいては日本の存在感を高める

2. 「より良く生きる社会」を作る

3. 育てた文化を次世代へ、そしてシビックプライドへ

※ 以上は「劇場法(平成24年6月施行)」「文化芸術基本法(平成29年6月施行)」「新潟市文化創造交流都市ビジョン(平成29年3月策定)」「設置条例」を踏まえて策定

施設の管理運営

「理念」「ミッション」「アウトカム」を実現するための基盤となる施設の管理運営に、以下のとおり取り組む

※ 以下、特に記載がなければ、りゅーとぴあ&音文 共通の取り組み

1. 実施方針

(1) コンプライアンス

- ・ 地方自治法等、関係法令の遵守
- ・ 年1回のコンプライアンス研修の実施

(2) 安全対策・緊急時対応

- ・ 新潟市火災予防条例の遵守、消防計画に基づく施設点検
- ・ 客席への誘導員の配置、非常時の避難誘導及び施設定員の管理
- ・ 火災及び地震マニュアルの策定、年2回の実地訓練とマニュアルへの反映
- ・ 年1回のAED取扱い訓練

(3) 適切な維持管理

- ・ 新潟市公共建築物保全計画に基づく「適切な日常管理」
- ・ マシンチェッカーを使った空調用モータの点検（りゅーとぴあのみ）
- ・ 再委託する場合、仕様書や手順書等による確認を行う
- ・ 維持管理作業の休館日や閑散期における計画的な実施
- ・ 備品台帳の整備による適切な記録
- ・ 異常や故障の兆候がある場合の速やかな市への報告

2. 経費の節減

(1) 契約事務の手法による経費節減

- ・ りゅーとぴあと音文、県民会館の3館契約1本化による契約額の引き下げ
- ・ 業務委託等における競争入札、見積合わせの実施

(2) 省エネルギーによる経費節減

- ・ 現状分析→省エネ計画→実行→振り返り のサイクル継続
- ・ 夏季の電力ピーク時において、りゅーとぴあと音文で調整し、契約電力に収める
- ・ 省エネ設備の導入
- ・ 照明の間引き点灯
- ・ TPOに合わせた空調運転

(3) 適切な建築・設備保全による経費節減

- ・ 建築、設備の長寿命化による長期的視点での経費削減

(4) 新潟市への汚水排除申告による下水道使用料の削減

3. サービス向上

- (1) ニーズの把握
 - ・貸館利用団体へのアンケート
 - ・パブリックスペースへの意見箱の設置
 - ・お客様へのインタビュー
 - ・ニーズのデータベース作成と職員間での情報共有
- (2) 要望・苦情への対応
 - ・真摯にお話を伺い、心情を理解する
 - ・苦情の内容を記録し関係部署で情報を共有する
- (3) 個人情報保護
 - ・収集する個人情報の範囲は、必要最低限とする
 - ・不正アクセス、改ざんなどに対して安全対策を実施する
 - ・職場内における不正利用がないよう厳重に管理する
 - ・職員への教育研修の実施
 - ・プライバシーポリシーのホームページへの掲載
 - ・年1回の個人情報保護研修
- (4) 混雑対策
 - ・チケット販売時の場内整理、販売対応職員の配置
 - ・駐車場混雑予想日のホームページ及びイベントガイド（紙面）での告知
 - ・終演後に発車する臨時バスを運行会社へ要請する
- (5) 快適な鑑賞環境等の維持
 - ・レセプションистによる客席案内、手荷物預かり（音文は、自主文化事業時の客席案内のみ）
 - ・公演鑑賞マナーのホームページ、チラシへの掲載、開演前の呼びかけ
 - ・施設の衛生環境、飲食メニュー等の品質レベル向上
- (6) その他（財団の付帯事業として実施）
 - ・レストラン、ビュッフェ、自動販売機などの飲食施設の設置
 - ・利用者用コピー機の設置
 - ・貸館公演チケットの受託販売
 - ・友の会の運営（りゅーとぴあのみ）
 - ・ショップの設置（りゅーとぴあのみ）
 - ・バックステージツアーの実施（りゅーとぴあのみ）
 - ・気軽に音ステージ、リレーコンサートの実施（音文のみ）

4. 貸館業務

- (1) 施設利用申請の受付
 - ・市民の平等利用の確保、丁寧な窓口対応、利用マニュアルの整備
 - ・新潟市公共施設予約システムを活用したWEBでの予約受付
 - ・公演日程が正式に決定されるまでの間の仮予約の受付

- ・舞台装置、音響、照明について利用者への助言及び補助
- (2) 情報発信、チケット販売
 - ・貸館公演をホームページ及びイベントガイド（紙面）で広報
 - ・貸館公演チケットの受託販売
- (3) 要望への対応
 - ・会場下見、打ち合わせの段階で利用者の意向を把握する
 - ・時間、予算面で制限がある場合、仕込み手順等を助言する
 - ・法令順守や安全対策の観点から全ての要望に答えられない場合、十分な説明や代替え案の提案を行う
- (4) 利用促進の取り組み
 - ・学校や音楽及び演劇鑑賞団体等に利用を働きかける
 - ・全国的なコンベンションや大会を積極的に受け入れる
 - ・大規模改修工事により導入された最新設備により、幅広い舞台演出に対応できる充実した機能のPR（りゅーとぴあのみ）

5. 組織体制

劇場法指針（平成25年文部科学省告示第60号）の10. 指定管理者制度の運用に関する事項に「（設置者は）劇場、音楽堂等の機能を十分発揮するため、質の高い事業を実施することができる専門的な知識及び技術を有する指定管理者を選定すること」とあり、相応しい組織体制とする

- (1) 組織構成
 - ・りゅーとぴあ及び音文の事務を総理し、職員を指揮監督するために支配人を置く
 - ・支配人の下に「りゅーとぴあ施設運営部」「りゅーとぴあ事業企画部」「音楽文化会館」を置く
 - ・りゅーとぴあ施設運営部に「庶務課」「舞台技術課」「施設・利用課」を、りゅーとぴあ事業企画部に「音楽企画課」「演劇企画課」「舞踊企画課」「広報営業課」を置く
- (2) 職員の雇用形態
 - ・市（派遣、一部職免）職員、正職員、嘱託職員、臨時職員を業務の「性格・量・難易度・責任の度合い」に応じて配置する
- (3) 配置計画
 - ・支配人は、財団常務理事がその職責を担う
 - ・部長は、新潟市との十分な意思疎通、新潟市の文化政策との連携という観点から市OB（OG）もしくは、市派遣職員を配置する
 - ・音文館長は、財団職員を配置する
 - ・上記以外は、質の高い事業の実施、施設の適正な維持管理、親切丁寧な窓口対応、安心安全で親身な施設利用のサポート、適正な会計及び契約処理、以上を実施することができる専門的な知識及び技術を有する職員を業務内容に応じて配置する
- (4) 人材育成

- 劇場法指針で努力義務とされている「5つの能力」を有する人材の育成に取り組んできたが、更なる向上（+ α ）を図る
 （★：文化芸術基本法第16条にも記載あり）
 - 【能力1】 実演芸術の公演等を企画制作する能力 ★
 - 【能力2】 舞台関係の施設・設備を運用する能力 ★
 - 【能力3】 組織・事業を管理運営する能力 ★
 - 【能力4】 実演芸術を創造する能力
 - 【能力5】 その他の劇場、音楽堂等の事業を行うために必要な専門的能力
- 更なる向上（+ α ）は、以下のとおり
 - 【能力1+ α 】 実演芸術の法的リスクを減らせる能力
 - 【能力2+ α 】 舞台関係の予算&人員をマネジメントする能力
 - 【能力3+ α 】 劇場を経営の観点から運営できる能力
 - 【能力4+ α 】 地域アーティストを支援する能力
 - 【能力5+ α 】 コミュニケーションに長けた能力
- 6つめとして【能力6】 地域を文化芸術でつなぐ能力 を持つ人材（ファンドレイザー等）の育成にも取り組む
- 育てた人材を確保する体制を構築、維持する

自主文化事業

「理念」「ミッション」「アウトカム」を実現するため、5つの基本方針に基づき、5つのコア事業を核に、自主文化事業に取り組む

※ 音文における文化事業の実施については「りゅーとぴあ」に設置されている企画制作部門が、音文の施設特性に相應しい事業を「音文（施設管理部門のみ設置）」と連携のうえ実施する体制としている

1. 新潟市文化創造交流都市ビジョン（市ビジョン）

【基本方針1】：市民の文化活動を支援し、次世代への継承を進めます

【基本方針2】：新潟市らしい文化の発信と交流により世界の中での存在感を高めます

【基本方針3】：文化の力を活用して都市の活力創出と成長を目指します

2. 「ミッション（社会的役割）」と【市ビジョン】の関係性

(1) 新潟から全国へ 世界へ発信 対応【市ビジョン基本方針2】

(2) 芸術文化を通じて「生きる力」を育む 対応【市ビジョン基本方針3】

(3) 新潟の文化を次世代へ継承し、
市民の誇りにつなげる 対応【市ビジョン基本方針1】

3. 5つの基本方針

(1) 地域に根差した文化の創造 対応 ミッション(1)(3)

(2) 地域特性を踏まえ、文化で人と
人をつなぐ（市民の文化活動への支援） 対応 ミッション(2)(3)

(3) 文化を支える人材の育成 対応 ミッション(2)(3)

(4) 質の高い専門性に富んだ
芸術を鑑賞する機会の提供 対応 ミッション(1)(3)

(5) 社会的役割を果たす基盤の整備・拡充 対応 全ミッションの土台

※ りゅーとぴあと音文の活用・補完

(1) 音楽文化会館の13の練習室は「基本方針(3)文化を支える人材の育成」において不可欠な「練習の場」となっている

※ りゅーとぴあは「発表の場」

(2) りゅーとぴあの事業計画を熟知し、理解している音文の職員と連携することで、スムーズな事業運営が行える

(3) りゅーとぴあがオリジナルの舞台作品を創造する際にも音文は「稽古場」となっている

- (4) りゅーとぴあは、音文ホールのキャパシティ（530席）ならではの音楽事業を音文職員と連携し、実施することができる

4. 5つのコア事業

- (1) 音楽事業「東響定期」
- ・準フランチャイズ契約による「わが街のオーケストラ」
 - ・平成10年の開館から続く「100回を超える定期公演」
- (2) 演劇事業「プロデュース」
- ・りゅーとぴあ発のオリジナル公演
 - ・全国各地で公演し、高い評価を得ており、市民の誇り、交流人口の拡大に貢献
 - ・演劇の特性を生かし、社会福祉機関との連携を図りながら、社会的弱者がコミュニティや社会へ参加できる機会をひらく
- (3) 伝統芸能事業「能楽」
- ・多言語化、バリアフリー対応を強化し、訪日外国人、若年層の取り込みに努める
 - ・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、親しめるワークショップなどの事業
- (4) 舞踊事業「Noism」
- ・国内唯一の劇場専属舞踊団として海外からの招へいも多く、新潟の国際プレゼンス向上に貢献
 - ・研修生カンパニーNoism2は、地域と密接に活動し、中学校へのアウトリーチ等を実施
- (5) 育成事業「ジュニア」
- ・オーケストラ、合唱、邦楽の3つの音楽教室を独自カリキュラム「新潟方式」で運営、子ども劇団「APRICOT」も運営
 - ・小学生から高校生、OB・OGの世代間交流の場となり、子どもたちのサード・プレイスとして機能

5. 鑑賞者増加への取り組み

- (1) 鑑賞者ニーズの把握と反映
- ・公演鑑賞者、友の会会員へのアンケート実施
 - ・チケット販売週報による広告効果の分析
- (2) ICTの活用
- ・ホームページの随時更新、陳腐化する前のリニューアル
 - ・SNS（Facebook、Twitter）で、ストーリー性のある魅力的なコンテンツを発信し、りゅーとぴあ・音文のファンをつくる
- (3) チケット販売チャンネルの多様化
- ・オンライン（インターネット）販売
 - ・オンラインチケット登録者の獲得と分析
- (4) 友の会制度の見直し

- (5) チケットシステムの見直し
- (6) ホールスポンサー制度等の導入
 - ・年間を通じた企業スポンサー制度の構築
 - ・個人寄付制度の拡大
- (7) 各事業の鑑賞者をターゲットングし、最適な広報媒体を選択
- (8) りゅーとぴあ、音文、新潟県民会館、3館の情報を盛り込んだ広報誌の発行
- (9) 舞台芸術に関する普及啓発活動

6. 平成31年度 りゅーとぴあ自主文化事業計画 (☆:5つのコア事業に所属)

(1) 音楽事業

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。

ホールの改修工事が終了し、数年ぶりに通年開館する年度であることを考慮し、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 鑑賞事業

ー 東京交響楽団シリーズ ー

東京交響楽団新潟定期演奏会 (☆)

- ・第113回 ～ショスタコーヴィチ：交響曲第5番～
5月26日(日)
- ・第114回 ～ドヴォルザーク：交響曲第7番～
7月14日(日)
- ・第115回 ～ブラームス：交響曲第3番～ 9月15日(日)
- ・第116回 ～ビゼー：「アルルの女」組曲～ 10月20日(日)
- ・第117回 ～ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番～
12月1日(日)
- ・第118回 ～バッハ：マタイ受難曲～ 3月29日(日)

ー 東響定期+α ー

- ・ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 7月3日(水)

ー ピアノ・リサイタルシリーズ ー

- ・No.38 ジャン・チャクムル ピアノ・リサイタル
8月1日(木)
- ・No.39 エリック・ル・サージュ ピアノ・リサイタル
9月26日(木)

ー りゅーとぴあ器楽リサイタルシリーズ ー

- ・No.6 マチュー・デュフォー フルート・リサイタル
7月27日(土)
- ・No.7 グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープ・リサイタル
10月4日(金)

- ・No.8 ゲイリー・カー コントラバス・リサイタル11月21日(木)
- ー 茂木大輔のオーケストラ・コンサート・シリーズ ー
- ・No.14 スメタナ「わが祖国」 9月1日(日)
- ー オルガン・シリーズ ー
- ・山本真希リサイタルシリーズNo.26 12月14日(土)
- ・山本真希リサイタルシリーズNo.27 3月15日(日)
- ・ファン・デ・ラ・ルピア オルガン・リサイタル 6月1日(土)
- ー ホール体験事業 ー
- ・1 コインコンサート Vol.100 第100回記念「ピアノ駅伝」 5月11日(土)
- ・同 Vol.101 「オーボエ」 6月21日(金)
- ・同 Vol.102 「トロンボーン四重奏団」 7月17日(水)
- ・同 Vol.103 「オルガン」 9月6日(金)
- ・同 Vol.104 「ヴァイオリン」 10月9日(水)
- ・同 Vol.105 「ギター」 11月28日(木)
- ー 音文レジェンド・シリーズ ー
- ・No.3 荘村清志 ギター・リサイタル 3月1日(日)
- ・No.4 徳永二男 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル 3月8日(日)
- ー 室内楽 ー
- ・宮川彬良&アンサンブル・ベガ 4月27日(土)
- ・鈴木大介&大萩康司 4月28日(日)
- ・5台ピアノの世界 5月12日(日)
- ・細川千尋トリオ(ジャズ) 12月20日(金)
- ー その他 ー
- ・オペラシアターこんにゃく座「タンク」 12月22日(日)
- ・バレンタインコンサート「ドグマ室内オーケストラ」 2月11日(火・祝)
- ・避難訓練コンサート 10月28日(月)

② 育成・普及事業

- ー 子供たちのための音楽会 ー
- ・「オーケストラはキミのともだち」 8月10日(土)
- ー 市民参加合唱団 ー
- ・にいがた東響コーラス 平成31年7月～平成32年3月
- ー ジュニア等育成事業 ー (☆)
- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
- 第38回演奏会 9月8日(日)
- ニューイヤーズ・コンサート 1月13日(日) 音文
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会 通年
- フェスティバル 8月18日(日) 浜松
- ・ジュニア合唱団育成事業

| | |
|------------------------------|-------------|
| 第29回定期演奏会 | 7月21日(日) |
| ニューイヤー・コンサート | 1月19日(日) 音文 |
| 第41回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 | 8月18日(日) |
| にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2020 | 2月2日(日) |
| ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業 | |
| 第24回定期演奏会 | 8月4日(日) |
| 和楽器わくわく体験デイ | 8月24日(土) |
| ・ジュニア音楽教室第16回スプリングコンサート | 3月28日(土) |
| ーその他ー | |
| ・オルガン講座 | 通年 |
| ・オルガン普及プログラム(サマーデイズ, ニューイヤー) | 8月25日(日) 他 |
| ・りゅーとぴあアウトリーチ事業 | 通年 |
| ジョイント・コンサート | 3月7日(土) 秋葉区 |
| ・コンサートホール企画連絡会議 | 通年 |

(2) 演劇事業

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。さらに専門ホールの特性を活用した新潟発の演劇作品を創造し、全国に向けて発信する。本年度はプロデュース企画の「イン・ザ・プール」、東宝(株)との共同事業「十二番目の天使」(ツアー公演)、東京芸術劇場との共同製作「ありとあらゆるステキなものたち」(仮)などを実施する。演劇スタジオ APRICOT を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、演劇ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図る。

① 鑑賞事業

| | |
|-----------------------------------|------------------|
| ・りゅーとぴあ・東宝共同事業「十二番目の天使」(新潟公演)2回公演 | 4月6日(土)・7日(日) |
| ・「キネマと恋人」3回公演 | 7月26日(金)~28日(日) |
| ・「お気に召すまま」2回公演 | 8月30日(金)~9月1日(日) |
| ・第三十一回ふるまち新潟をどり2回公演 | 9月8日(日) |
| ・NE/ST公演 劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」1回公演 | 9月18日(水) |
| ・宮崎駿「最貧前線」2回公演 | 9月28日(土)~29日(日) |
| ・成井豊演出作品「(演目未定)」1回公演 | 10月19日(土) |
| ・前川知大演出作品「(演目未定)」1回公演 | 11月30日(土) |
| ・「常陸坊海尊」1回公演 | 1月25日(土) |
| ・水都寄席「春風亭小朝独演会」1回公演 | 3月8日(日) |
| ・倉持裕 作・演出作品「(演目未定)」1回公演 | 3月29日(日) |

- ② 育成・普及事業
- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT (☆) 通年
(発表公演：夏季・春季／アウトリーチ：1月)
 - ・りゅーとぴあ演劇ワークショップ 年3回(時期未定)
- ③ 新潟発創造事業 (☆)
- ・りゅーとぴあ・東宝共同製作「十二番目の天使」 17回公演
4月6日(土)～29日(月・祝)
新潟・金沢・水戸・香川・久留米・福井・名古屋・兵庫
 - ・りゅーとぴあ発「イン・ザ・プール」1回公演 6月29日(土) 劇場
5回公演 7月11日(木)～15日(月・祝)
あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
 - ・東京芸術劇場共同製作「ありとあらゆるステキなものたち」(仮)3回公演
2月8日(土)・9日(日)・11日(火・祝)

(3) 能楽事業 (☆)

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座、子どもたちを対象とした囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験講座を開催することにより若年層への能楽普及を図る。

- ① 鑑賞事業
- ・春の能楽鑑賞会「歌占」(観世流) 1回公演 4月21日(日)
 - ・茂山狂言公演 1回公演 7月6日(土)
 - ・秋の能楽鑑賞会「(未定)」(宝生流) 1回公演 10月26日(土)
 - ・野村万作萬斎狂言公演 2回公演 12月21日(土)
 - ・新作能「利休」 1回公演 3月14日(土)【予定】
- ② 育成・普及事業
- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く 能の楽しみ」 年3回 5月21日(火)
8月18日(日)
1月26日(日)
 - ・「舞の習い」(観世流能楽鑑賞教室) 6月～8月【予定】
 - ・こども☆能楽たいけんワークショップ「さわってみよう能の世界」
11月【予定】
 - ・能楽ワークショップ[囃子](能楽堂・市内小中学校)
6月18日(火)～19日(水)
 - ・能楽ワークショップ[謡](市内中学校) 7月【予定】
 - ・能楽ワークショップ[狂言](能楽堂・市内小中学校)
2月17日(月)～18日(火)

(4) 舞踊事業

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーである Noism の活動による、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信することを通して舞台芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、新潟市や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指す。

新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業 (☆)

Noism15周年記念公演「TRIPLE BILL」(仮)

新潟公演 3回公演 7月19日(金)～21日(日)

東京公演 2回公演 7月27日(土)～28日(日)

Noism1 新作「(タイトル未定)」

新潟公演 3回公演 12月13日(金)～15日(日)

埼玉公演 2回公演 1月17日(金)～19日(日)

Noism2 札幌公演 2回公演 4月19日(金)～20日(土)

Noism2 定期公演 4回公演 2月14日(金)～16日(日) (予定)

Noism 関連事業「柳都会」 4回開催予定 (4月、7月、10月、1月)

Noism「カルメン」モスクワ公演 3回公演

5月29日(水)～31日(金)

Noism「R.O.O.M.」シビウ公演 2回公演

6月15日(土)～16日(日)

Noism「NINA」中国・杭州公演 2回公演

9月6日(金)～7日(土)

Noism「s s s」シアター・オリンピックス公演 2回公演

9月20日(金)・22日(日)

(5) 共催事業

芸術団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

- ・春の新潟音楽ウィーク(新潟市) 4月27日(土)～5月5日(日)

- ・ジブリの思い出がいっぱい(UX) 6月22日(土)

- ・前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル(NST) 10月5日(土)

- ・ケント・ナガノ指揮 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団(TeNY)

11月1日(金)

- ・第67回新潟市芸能まつり 10月～11月音文ほか

- ・劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合(県女子体育連盟) 1月11日(土)

- ・第14回春季全国高等学校演劇研究大会<フェスティバル2020>

(新潟県高等学校文化連盟演劇専門部) 3月17日(火)～22日(日)

(6) 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者を拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度の新規導入など、広報・営業活動を効果的に展開していく。合わせて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。

7月より新チケットシステムを稼働し、友の会とインターネット会員の拡大、業務の効率化を図っていく。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・ 広報営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業

(7) 調査研究諸費

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。

(8) 事業企画諸費

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信する。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト
- ・ 演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。

自己評価の仕組みとマネジメントへの反映

「理念」「ミッション」「アウトカム」を実現するため、厳格に自己評価を行い、質の高い業務の維持と必要に応じた業務の改善に努める

※ 以下、特に記載がなければ、りゅーとぴあ&音文 共通の取り組み

1. 自己評価

(1) 評価項目

- ・市の「公の施設目標管理型評価書」と同項目 + 指定管理者独自の項目で評価を行う
- ・市の「公の施設目標管理型評価書」と同項目は、市と協議のうえ設定している
- ・劇場法（平成24年6月）、文化芸術基本法（平成29年6月）、新潟市文化創造交流都市ビジョン（平成29年3月）を反映
- ・「アウトカム」の達成度を測るための「取組」「目標」「指標」を組み込む
- ・市と協議のうえ、定期的に見直しを行う

(2) 評価指標

- ・数値指標に対して実績が「+5%超はA、±5%以内はB、-5%超はC」と判定基準を明確化する
- ・数値でない指標は、具体的な取り組み状況で判定する（A～C）

(3) 自己評価表

- ・P19&23参照

2. マネジメントへの反映

(1) 市との情報共有

- ・自己評価終了後、評価結果を市と共有する
- ・市は自己評価を参考に「公の施設目標管理型評価書」を作成する

(2) 国（文化庁）への報告（りゅーとぴあのみ）

- ・文化庁補助金において成果として示す必要のある評価項目は、報告のうえ評価を受ける（評価が低い場合、補助金打ち切り）

(3) 評価結果を分析のうえ、各事業を検証する内部会議を実施する

(4) 市と各事業の検証結果について会議を行う

(5) 内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組む

(6) 指定管理&文化庁補助金の期間中、毎年度このマネジメント・サイクルを繰り返す

社会・地域貢献

「理念」「ミッション」「アウトカム」を実現し、社会と地域に貢献する

※ 以下、特に記載がなければ、りゅーとぴあ&音文 共通の取り組み

1. 市民の文化活動の振興

(1) 子どもの文化活動への支援

- ・音楽、能楽等を中心に学校へのアウトリーチ・プログラムを展開
- ・ジュニア音楽教室、演劇スタジオキッズコース「APRICOT」の運営により、次世代の文化活動の担い手を育成

(2) 文化活動を行う市民への支援

- ・アウトリーチ事業により、地域のアーティストを育成
- ・貸館利用者のニーズに合わせた臨機応変な対応と施設の特性を最大限活かす利用方法の提案
- ・市民がステージに立つ機会を提供する事業の実施
(音文の「気軽に音ステージ」「リレーコンサート」等)

(3) 文化活動に参加しやすい基盤づくり

- ・子育て中の親の鑑賞機会を促進するための託児サービス
- ・若者の鑑賞を支援するために安価なU25シートを設定
- ・各ホールのバックステージツアーの実施、利用がない時のコンサートホールロビーの開放(いずれもりゅーとぴあのみ)

2. 市内産業の振興・貢献、市内居住者の雇用確保

(1) 市内産業の振興・貢献

- ・委託契約、工事請負契約、物品購入契約の際、市内業者を優先
- ・全国的大会の積極的誘致、大規模な招へい公演の実施により市内ホテル、飲食業者などの売上増に貢献

(2) 雇用確保等

- ・ジュニア音楽教室等の運営により、講師等の雇用を確保
- ・レセプションистの配置により、雇用を確保

3. 地域連携の取り組み

(1) ボランティアの受け入れ

- ・ジュニア音楽教室、「APRICOT」の保護者等が運営をサポート
- ・「こども能楽たいけん☆ワークショップ」において、新潟大学の学生が運営をサポート

(2) 障がい者の社会参加促進

- ・「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」に基づき、意見の把握に努めるとともに、必要な配慮を行う

【聴覚障がい】 赤外線補聴器の貸出、筆談の用意

【視覚障がい】 点字プログラム、音声誘導装置と点字サイン

【オストメイト】 対応設備（トイレ）

【歩行困難】 車いすの用意、要望に応じたアテンド

(3) 地域・関係団体との連携

- ・市内文化施設等との連携（市内各区ホールとの連携によるアウトリーチ、ワークショップ等）
- ・市内美術館のコンサートにジュニア音楽教室が出演
- ・市内飲食店等と提携し、公演チケット等の提示でサービスを受けられるパートナーシップ制度の実施
- ・専門学校・高校・中学等の施設見学、職場体験を受け入れ
- ・大学からのインターシップの受け入れ

4. 環境保護（ごみ減量化、リサイクル、省エネ等）

(1) ゴミ分別の徹底による減量化とリサイクル促進

(2) 雨水ろ過器を適正に維持し、トイレ洗浄水等として活用

(3) 空調温度の省エネ設定

31年度委託契約計画（施設管理）

入：入札 随：見積り合せ I：一者随契

囲い：契約一本化（H31予定含む）

| 業務内容 | 市民芸術文化会館 | | | 音楽文化会館 | | |
|--------------------------|--|-----|-----|--|-----|-----|
| | 委託先（H30実績） | H30 | H31 | 委託先（H30実績） | H30 | H31 |
| 1 人的派遣 | | | | | | |
| ① 警備（機械） | セコム上信越(株) | I | I | セコム上信越(株) | I | I |
| ② 警備（常駐） | NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約) | 入 | 入 | NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約) | 入 | 入 |
| ③ 設備運転管理 | | | | | | |
| ④ 清掃業務 | 環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約) | 入 | 入 | 環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約) | 入 | 入 |
| ⑤ 窓ガラス清掃業務 | 中央管財(株) | 入 | 入 | 中央管財(株) | 入 | 入 |
| ⑥ 廃棄物処理 | 新潟交友事業(株) | 随 | 随 | 新潟交友事業(株) | 随 | 随 |
| ⑦ 水質検査 | (一財)新潟県環境衛生研究所 | 随 | 随 | (一財)新潟県環境衛生研究所 | 随 | 随 |
| ⑧ 空気環境測定 | 新潟交友事業(株) | 随 | 随 | 新潟交友事業(株) | 随 | 随 |
| ⑨ ねずみ等生息調査 | (株)アート | 随 | 随 | (株)アート | 随 | 随 |
| ⑩ 水槽清掃 | (株)企業水処理サービス | 随 | 随 | (株)企業水処理サービス | 随 | 随 |
| ⑪ ばい煙測定 | (一財)新潟県環境衛生研究所 | 随 | 随 | (一財)新潟県環境衛生研究所 | 随 | 随 |
| ⑫ 駐車場管理 | (社)新潟市シルバー人材センター | I | I | — | — | — |
| 2 保守点検 | | | | | | |
| ① 電気設備 | (一財)東北電気保安協会新潟事業本部 | 入 | 入 | (一財)東北電気保安協会新潟事業本部 | 入 | 入 |
| ② 直流電源装置 | 自主管理 | — | — | | | |
| ③ 自家発電設備 | 北越機電工業(株) | 随 | 随 | 昱工業(株) | I | I |
| ④ 冷温水発生機 | 荏原冷熱システム(株)新潟営業所 | I | I | 菱機工業(株) | I | I |
| ⑤ 空調設備 | ダイダン(株)新潟支店 | 入 | 入 | 上期：ダイダン(株)新潟支店 下期：ダイダン(株)新潟支店 | 随 | 随 |
| ⑥ 排煙設備 | ダイダン(株)新潟支店 | 入 | 入 | | | |
| ⑦ 冷却塔 | (株)企業水処理サービス | 随 | 随 | | | |
| ⑧ 自動制御装置 | アズビル(株)ビルシステムカンパニー | I | I | アズビル(株)ビルシステムカンパニー | I | I |
| ⑨ ボイラー貯湯タンク | 渡辺建設(株) | 随 | 随 | — | — | — |
| ⑩ エレベーター設備 | (株)日立ビルシステム関越支社 | I | I | (株)日立ビルシステム関越支社 | I | I |
| ⑪ オーニング設備 | 三精テクノロジーズ(株)東京支店 | I | I | — | — | — |
| ⑫ ゴンドラ設備 | 日本ビソー(株)本設ゴンドラ東京支店 | I | I | — | — | — |
| ⑬ 自動ドア | (株)新潟ナブコ | I | I | 新潟寺岡オートドア(株)（1F） (株)新潟ナブコ（2F） | I | I |
| ⑭ 防災設備（機械） | 星防災設備(株) | 随 | 随 | 星防災設備(株) | 随 | 随 |
| ⑭ ₋₂ 防災設備（電気） | (株)興電社 | 入 | 入 | (株)興電社 | 入 | 入 |
| ⑮ 植栽 | グリーン産業(株) | 入 | 入 | グリーン産業(株) | 入 | 入 |
| ⑯ 上水滅菌装置 | 新潟オーヤラックス販売(株) | I | I | — | — | — |
| ⑰ シャッター | (株)LIXIL 鈴木シャッター新潟営業所 | I | I | 三和シャッター工業(株)新潟センター | I | I |
| ⑱ 空気清浄機 | ミドリ安全新潟(株) | I | I | — | — | — |
| ⑲ 排煙窓 | 小竹金物(株)新潟営業所 | I | I | — | — | — |
| ⑳ 客席椅子 | KSS(株) | I | I | (清掃業務に含む) | 入 | 入 |

31年度委託契約計画（舞台技術）

入：入札 随：見積り合せ I：一者随契
 ※：改修工事により未実施
 *：経年劣化により保守対象から除外

囲い：契約一本化（H31予定含む）

| 業務内容 | 市民芸術文化会館 | | | 音楽文化会館 | | |
|-------------|--------------------|-----|-----|---------------------------|-----|-----|
| | 委託先（30年度実績） | H30 | H31 | 委託先（30年度実績） | H30 | H31 |
| 1 人的派遣 | | | | | | |
| ① 舞台技術管理運営 | 新潟照明技研(株) | I | I | 新潟照明技研(株) | I | I |
| 2 保守点検 | | | | | | |
| ① 舞台機構設備 | カヤバ・システムマシナリー(株) | ※ | I | 森平舞台機構(株) | I | I |
| ② 舞台音響設備 | ヤマハサウンドシステム(株) | I | I | ヤマハサウンドシステム(株) | I | I |
| ③ 舞台照明設備 | 丸茂電機(株) | I | I | 東芝エルティールエンジニアリング(株)首都圏営業所 | I | I |
| ④ 映像記録設備 | — | * | * | — | — | — |
| ⑤ パイプオルガン | グレンツィング社 | I | I | — | — | — |
| | 木村オルガン工房 | I | I | | | |
| ⑥ ピアノ | ヤマハミュージックリテイリング新潟店 | 随 | 随 | ヤマハミュージックリテイリング新潟店 | 随 | 随 |
| | (株)河合楽器製作所北関東支店新潟店 | 随 | 随 | 渡辺ピアノ調律所 | I | I |
| | (株)わたじん 新潟支店 | I | I | (株)松尾楽器商会 | I | I |
| ⑦ チェンバロ | (株)ギタララ社 | I | I | 今井ピアノ調律所 | I | I |
| ⑧ ポジティブオルガン | マルク・ガルニエ・オルグ・ジャボン | I | I | — | — | — |

H31年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-----|----|-----------------------------------|---------------------|----------|--|-----|---------|
| 市 民 | 1 | 基準稼働率の達成 | 3ホール稼働率 | コンサートホール | 86.0%以上 | | |
| | 2 | | | 劇場 | 80.0%以上 | | |
| | 3 | | | 能楽堂 | 39.0%以上 | | |
| | 4 | 基準利用者数の達成 | 施設別利用者数 + 視察・見学者等 | 年間人数 | 347,000人以上 | | |
| | 5 | 文化事業年間鑑賞者数 | 自主文化事業の年間入場者・参加者数 | 年間人数 | 100,000人以上 | | |
| | 6 | 貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み | 右記の取り組みをしているか | | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 | | |
| | 7 | 貸館利用者（主催者）満足度 | 貸館利用者の満足度調査 | 満足度 | 90%以上 | | |
| | 8 | 文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無 | 右記を実施しているか | | 意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取を実施していること | | |
| | 9 | 文化事業公演等の鑑賞者の満足度 | 文化事業公演等の鑑賞者の満足度調査 | 満足度 | 90%以上 | | |
| | 10 | ワークショップ回数・アウトリーチ回数 | ワークショップ・アウトリーチ回数 | 年 間 | 100回以上 | | |
| | 11 | 公演や催し物情報の情報発信 | 右記の取り組みをしているか | | ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙 ⑦SNS | | |
| | 12 | 会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み | 右記の取り組みをしているか | | ①会員先行予約・優先予約制度、②チケット購入者への駐車場割引、③チケット割引制度、④セット券の販売、⑤カード決済 ⑥会員への機関紙の送付、⑦チケットのネット販売 | | |
| | 13 | 会館会員数の確保 | 年度末時点での会員数 | 会員数 | 5,400人以上 | | |
| | 14 | ホスピタリティに関する取り組み | 右記の取り組みをしているか | | <ul style="list-style-type: none"> ・レセプションистの配置 ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） | | |
| | 15 | 東京オリンピックパラリンピック競技大会文化プログラムへの取り組み | 文化プログラム認証件数 | 年 間 | 30件以上 | | |
| | 16 | 社会包摂、コミュニティの創造と再生 | 教育・医療・福祉等 異分野との連携機会 | 年 間 | 4件以上 | | |
| | 17 | 子どもが文化芸術に触れる機会の提供 | 右記を実施しているか | | 子ども向け文化事業の実施 | | |

H31年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-----|----|-------------------------------------|---|--|-----|-----|---------|
| 財 務 | 1 | 文化事業 自主財源比率 | (事業収入+文化庁補助金等) / 事業費 | 自主財源比率 67%以上 | | | |
| | 2 | 文化事業収入拡大及び外部資金の獲得 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 文化事業収入拡大のための営業活動 外部資金獲得の情報収集 外部資金獲得の関係づくり | | | |
| | 3 | 施設使用料収入の増加 | 施設使用料収入 | 年 間 71,000千円以上 | | | |
| | 4 | 施設利用者一人当たりの運営経費 | 指定管理料決算額(※) ÷ 年間利用者数 (※) 人件費及び維持補修費を除く | 年 額 939円以下 | | | |
| | 5 | 市民の文化的環境の充実に対する第三者からの高い評価 | 右記のとおり | 国等からの財政的支援の獲得 | | | |
| 業 務 | 1 | 長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 緊急時の連絡体制、マニュアル整備 | | | |
| | 2 | 日常連絡の適切さ | 月次報告書の提出 | 提出期限 翌月10日 | | | |
| | 3 | 事業計画・事業報告の適切さ | 事業報告書の提出 | 提出期限 翌年度4月30日 | | | |
| | 4 | 運営方針・事業目標 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある 運営方針をホームページ等で市民に公開している 運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている。 | | | |
| | 5 | 運営方針を実現するための経営戦略の有無 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している 所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている 内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる | | | |
| | 6 | 関係法令の順守 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修の実施 コンプライアンス研修の実施 守秘義務違反なし | | | |
| | 7 | 他の公立館との共同・連携企画の実施 | 年間の企画数 | 年 間 10企画以上 | | | |
| | 8 | 協働の推進による「公益の増進」「行政の代行的・補完的機能の増進」の実現 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> 行政にない専門性を活かした管理運営 幅広い分野との連携、コーディネーター人材の確保 地域の文化人材との連携 | | | |

H31年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-----|----|-------------|---------------|--|-----|-----|---------|
| 人 材 | 1 | 専門性の高い人材の活用 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・オルガニストの配置 ・文化関係法規に精通した弁護士との顧問契約 ・専門的知識、技能、経験、資格等を備えた職員の活用 | | | |
| | 2 | 職員の育成 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部研修の受講 ・スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・研修成果の館内へのフィードバック | | | |
| | 3 | 労働基準の充足 | 右記のとおり | 労働基準違反に該当する問題がないこと | | | |

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標＋5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標－5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成＋αの取り組み有り
- D：同左

H31年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-------------------------|----|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|--|-----|---------|
| 新 潟 市 の 地 域 活 性 化 | 1 | パートナーショップ | 右記のとおり | 加盟店数 | 40店 | | |
| | 2 | 新潟のプレゼンス向上 | 全国&海外公演の実施 | 年 間 | 全国：10回 海外：2回 | | |
| | 3 | 地域で文化を支え継承 | 地域の文化関係者との共同事業 | 年 間 | 15件 | | |
| | 4 | アウトリーチ手法の普及、アマチュア演奏家の育成 | アウトリーチ研修会開催 アウトリーチ等への出演 | 年 間 | 研修会：1回 出 演：6公演 | | |
| | 5 | 地域の文化活動の活性化 | ジュニア音楽・演劇事業のOB・OGの文化活動率アンケート調査の実施 | 実施の有無 | 実 施：A評価 未実施：C評価 | | |
| | 6 | 舞台芸術が、より身近になる | ヴァリエーションに富んだ事業展開 全国（世界）的連携公演 | 月平均 年 間 | 各ホール2件 （能楽堂1） 10件 | | |
| | 7 | 鑑賞者の交流拡大 | 出演者を交えた交流機会の提供 | 年 間 | 4回 | | |
| 効 率 的 な 会 館 運 営 | 1 | バックステージツアー | 右記のとおり | 年 間 | 6回 | | |
| | 2 | 清掃・館内美化への対応度 | 観客や住民が、安全に安心して利用できる施設環境と運営体制を整えているか | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の特性に応じた清掃基準 ・実施状況の定期的な点検 ・館内の掲示物、備品を含めた総合的なアメニティの向上 | | |
| | 3 | 施設・設備の保守点検度 | 保守点検の実施 | | 法定&任意：A評価 法定のみ：B評価 法定未実施：C評価 | | |
| | 4 | 専門人材（職員）の確保 | ファンドレイザー資格取得 長期研修派遣 | 准認定1人 認定1人 年 間 1人 | A評価：すべて達成 B評価：いずれか達成 C評価：いずれもなし | | |
| | 5 | 財源の多様化 | ファンドレイジングの実施 マッチンググラント制度の検討 | 年 間 1千万円（H34年度迄に達成） 研究・体系化後、市へ働きかけ | | | |

【評価基準】 & 【指定管理者による自己評価時の基準（市提示の評価基準を補足・明確化するもの）】

→ 市「公の施設目標管理型評価書」と同項目 と同様とする

| 総 合 評 価 （ 所 見 ） |
|-----------------|
| |

H31年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-----|----|-----------------------------------|--|---|-----|-----|---------|
| 市 民 | 1 | 基準稼働率の達成 | | ホール稼働率 70.0%以上 | | | |
| | 2 | 基準利用者数の達成 | | 年間利用者数 78,700人以上 | | | |
| | 3 | 貸館利用者（主催者）満足度 | 貸館利用者の満足度調査 | 満足度 90%以上 | | | |
| | 4 | 貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 | | | |
| | 5 | ホスピタリティに関する取り組み | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） | | | |
| 財 務 | 1 | 施設利用者一人当たり運営経費 | 指定管理料決算額（※） ÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く | 年 間 540円以下 | | | |
| | 2 | 施設使用料収入の増加 | 施設使用料収入 | 年 間 13,200千円以上 | | | |
| 業 務 | 1 | 長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備 | | | |
| | 2 | 日常連絡の適切さ | 月次報告書の提出 | 提出期限 翌月10日 | | | |
| | 3 | 事業計画・事業報告の適切さ | 事業報告書の提出 | 提出期限 翌年度4月30日 | | | |
| | 4 | 運営方針・事業目標 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている | | | |
| | 5 | 運営方針を実現するための経営戦略の有無 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる | | | |
| | 6 | 関係法令の順守 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし | | | |

H31年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

| 視 点 | No | 評 価 項 目 | 評 価 方 法 | 評 価 指 標 | 実 績 | 評 価 | コ メ ン ト |
|-----|----|-------------|---------------|--|-----|-----|---------|
| 人 材 | 1 | 専門性の高い人材の活用 | 右記の取り組みをしているか | 館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること | | | |
| | 2 | 職員の育成 | 右記の取り組みをしているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内部、外部研修の受講 ・ スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・ 研修成果の館内へのフィードバック | | | |
| | 3 | 労働基準の充足 | 右記のとおり | 労働基準違反に該当する問題がないこと | | | |

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標＋5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標－5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成＋αの取り組み有り
- D：同左

| |
|-----------------|
| 総 合 評 価 （ 所 見 ） |
|-----------------|